

チームで協力して残業を減らす
―働き方改革セミナーを開催―

9月7日、石川和男氏を講師に「働き方改革による生産性向上で残業しないチームを作る」と題したセミナーを開催しました。



実例を交えたわかりやすい内容

石川氏は「建設会社 総務経理」「大学講師」「時間管理」「コンサルタ」「セミナー講師」「税理士」と5つの仕事を掛け持ちする時間管理の専門家で、自身の経験から残業をしないためにはどのようにチームでコミュニケーションをとっていくと良いか、実例を交えながら解説しました。

セミナーでは、仕事を相手に伝えるときの指示の仕方、慣習化している仕事の見直し、優先順位の付け方等の紹介があり、参加者からは、すぐに取り入れられる、意識して取り組みたい項目が多数あったとの声が聞かれました。

参加者は11名

経営者の第一歩を応援
―女性が輝く加古川市ビジネスプランコンテスト―

9月10日、女性が輝く加古川市ビジネスプランコンテストのスタートアップセミナーを開催しました。

コンテストの概要説明や、先輩起業家である、おやこ支援室ゆずりはの太田恵理子氏を講師に「誰一人取り残さない社会に！」と題した講演会が行われました。

そして、10月22日・29日に「ブラッシュアップセミナー」として中小企業診断士による個別相談でビジネスプランの最終チェック、その後書類審査を行い来年2月11日のコンテストのファイナリストを決定します。

書類の提出締切は11月17日です。この中で、創業を考えている方、第二創業を考慮している方は是非ご応募下さい。



女性が輝くための事業を応援

参加者は37名

会議所のう(じき)

先輩社員に追いつけ追い越せ
―新入社員ラウンドアップセミナーを開催―

10月12日・13日、ウィルプランニング代表の原田朋子氏を講師に、入社から半年経った新入社員・若手社員を対象にラウンドアップセミナーを開催しました。



グループで話し合いを重ね発表

入社してから半年経ち、自身自身の仕事の振り返りを行い、その後、社内での言葉遣いやプレゼンテーション方法の他、クレーム対応については特に事例研究も行いながら、より重点的に研修が行われました。

グループに分かれ、対応方法などについて意見交換し、まとめた意見を発表しました。

参加者からは「4月の新入社員セミナーで学んだことを復習でき、様々な状況の対応を学べたので、これからの業務で活かしていこうと思います」との声が聞かれました。

参加者は18事業所34名

創業への第一歩は創業塾で！
―加古川創業塾2022を開催―

9月17日・24日・10月1日・8日の全4回、中小企業診断士でもあるジャイロ総合コンサルティンク(株)の西村伸郎氏を講師に、創業塾が開催されました。

成功する創業条件とビジネスアイデアの見つけ方、マーケティング戦略と売れるための販売促進、お金の仕組みを知ってビジネスプランを作る、創業への第一歩と事業計画発表などテーマごとに学びました。



全4回しっかり学びました

創業事例の紹介を織り交ぜて、ワークシートで自己分析を行いながら、最終的には事業計画書を完成させることを目指しました。完成した事業計画書はグループ内で発表した後、グループの代表者は全体発表を行い、他者からの印象や意見を聞く機会も設けていました。

参加者は22名

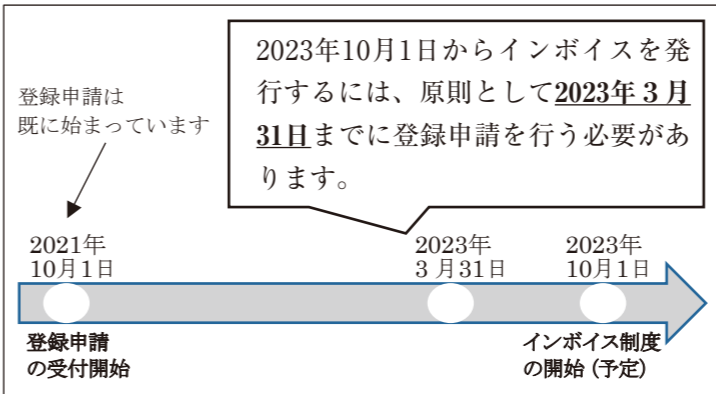
「小規模事業者持続化補助金」の採択結果が発表されました

【一般型(第8回 6/30締切)】当所関係 採択者 (順不同)

事業所名	補助事業の事業名称
進学教室ジェック(同)	個別指導コースの設置とさらなる通塾エリア拡大を目指した新規入塾生募集活動
(同) 右腕	全国の個人塾にオンラインプログラミング講座を導入し広告宣伝を代行する事業

〈今後の申請受付予定〉
一般型 第10回受付締切：2022年12月9日(金)
【お問い合わせ】加古川商工会議所 中小企業相談室 TEL 079-424-3355

インボイス登録申請のスケジュール



9月27日、加古川税務署法人課税第一部門の城下弘之氏を講師に招き消費税インボイス制度対策セミナーを開催し、制度の仕組みや今までの変更点、気を付けるポイントの解説がありました。同内容が10月24日、11月16日、12月15日に開催予定ですので、都合のいい日程に是非ご参加下さい。参加者は29名

早めの登録・準備でスムーズに
―インボイスセミナーを開催―

10月6日、楽天グループ(株)安達知洋氏を講師に、ふるさと納税制度活用販路拡大セミナーを開催しました。



商品を全国に発信しませんか!?

セミナーでは、手軽に始められるDXとして「ふるさと納税制度」が注目されていること、ふるさと納税業界の動向(楽天ふるさと納税の現状と今後)、売上向上のために押さえておきたい傾向と対策について解説がありました。最近ではモノ以外にサービスの提供の返礼品も増えている背景があることや、消費者のニーズをつかむことが選ばれる返礼品開発に繋がるとの説明がありました。

翌7日の個別相談会では、希望者を対象に、じっくり相談できる場を設けました。セミナー参加者は50名